



7月2日(月)～6日(金)

森林保全の大切さを学ぶ 丸山生産森林組合で林業体験

岸

本中学校、溝口中学校の2年生8人が7月2日(月)から5日間、丸山生産森林組合で職場体験学習を行いました。この職場体験学習は、体験活動を通して自己理解を深め、自分の適性を考えながら進路選択に役立てることを目的に、毎年受入れ可能な町内各事業所で一斉に行われています。

期間中は悪天候が続き、雨の中の作業や中止の日があったため、十分な体験活動はできませんでしたが、まき割りや下草刈りなどを通して、森林保全の大切さを学びました。参加した生徒は、「森を育てることがどれだけ大変か良く分かった」、「仲間と協力することで、一人ではできないこともできることを知った」、「まき割りは斧などで切るものと思っていたが、機械で切っていたのでビックリした」と話していました。

なお、この体験活動の費用の一部に、森林を県民みんなで守り育てるための「森林環境保全税」が活用されました。



▲まき割り作業を体験中

7月15日(日)

ポランティアが

選手の力走をサポート

第38回全日本トライアスロン皆生大会

毎

年恒例の鉄人レース、全日本トライアスロン皆生大会が7月15日(日)に開催され、自転車コースとなっている伯耆町では、ポランティアが協力して、選手たちの力走を支えました。

当日は、厳しい暑さの中の過酷なレースとなりましたが、植田正治写真美術館前に設置されたエイドステーションでは、ポランティアが、飲み物を渡しながら「お疲れ様」「頑張つて」など温かい声をかけたり、冷たい水を浸み込ませたスポーツジで選手の頭や首を冷やしたりするなど、選手たちの体を気遣いながら、選手の力走を支えています。



▲冷たい飲み物を提供します



▲飲食物の提供の様子

7月21日(土)

高原の夏まつり

フェスティバル

ディア・マスミズ2018

桝

水高原の夏祭り、フェスティバル・ディア・マスミズが、7月21日(土)に開催され、多くの人で賑わいました。

桝水地蔵前では、地元住民、町長、行政関係者が参列し、元禄9年(1696年)の大干ばつで亡くなった先祖を供養する桝水地蔵尊祭が行われました。

芝生広場では、鳥取大鼓の演奏、傘踊りなどが行われ、会場を盛り上げました。

その後行われた盆踊り大会では、大人も子どもも一緒に、大きな輪を囲んで大きな輪を作り、一斉盆踊りを楽しみました。祭りのフィナーレには、約2,000発の打ち上げ花火が夜空を彩り、見物客を魅了しました。



▲大きな輪を描いて盆踊り



▲桝水地蔵尊祭の様子